私の夢アイデア

"回遊する本棚"

世の中の会話量をふやすネットワーク型共同書店

アジェンダ

- ・私が解決したい社会課題
- ・ネットワーク型の共同書店とは
- 本を介したウェルビーイングなまちづくり

私の夢アイデア

私が解決したい社会課題

身近な社会課題~つながりの希薄化

世界人助け指数での総合ランキングで日本は世界最下位

総合ランキング	人助けランキング	寄付ランキング	ボランティア ランキング
			ノノヤンソ

		Score	Ranking	Score	Ranking	Score	Ranking	Score
	Ranking							
Israel	92	28%	101	4096	47	33%	86	12%
Cambodia	93	28%	87	44%	64	28%	81	13%
Slovenia	94	28%	109	33%	52	29%	32	22%
China	95	28%	80	49%	85	22%	73	1496
Romania	96	28%	59	57%	88	21%	108	7%
Switzerland	97	28%	111	30%	38	36%	46	19%
Kazakhstan	98	28%	90	43%	54	29%	85	1296
Lithuania	99	28%	88	43%	74	25%	65	16%
Spain	100	27%	97	41%	69	26%	84	13%
Greece	101	26%	71	53%	110	12%	72	1496
Jordan	102	26%	42	61%	105	13%	114	5%
Gabon	103	26%	64	56%	109	12%	98	10%
Hong Kong	104	26%	105	3796	43	34%	111	6%
Latvia	105	25%	98	4196	57	29%	109	796
France	106	25%	110	31%	83	22%	30	23%
Pakistan	107	25%	92	4296	78	24%	106	896
Lebanon	108	24%	84	46%	96	17%	105	896
Morocco	109	23%	45	60%	114	3%	112	6%
Republic of Korea	110	22%	112	29%	59	28%	100	1.096
Italy	111	22%	108	33%	80	23%	103	9%
Belgium	112	21%	113	25%	79	23%	69	15%
Portugal	113	20%	104	37%	106	13%	102	10%
Japan	114	12%	114	1296	107	12%	91	1296

Japan scores the lowest of all the countries with an index of 12,down from 22 in 2018. Japan has historically had an unusually limited civil society for an advanced industrialised nation – the rules around charitable giving are complex, expectations of state provision are high, and organized nonprofits are a relatively new phenomena.

「日本は2018年の調査のスコアを22から12に落とし、すべての国の中で最も低いスコアとなっている。日本は歴史的に先進国としては珍しく市民団体が少ない。チャリティーに関する規制は複雑であり、国の対策に対する期待は高く、組織化された非営利団体の登場は比較的新しい現象である

(レポートに記載された日本の調査結果へのコメントから)

出典: Charities Aid Foundation (CAF) World Giving Index 2021

大日本印刷が開発、提供するサービス may II アプリ



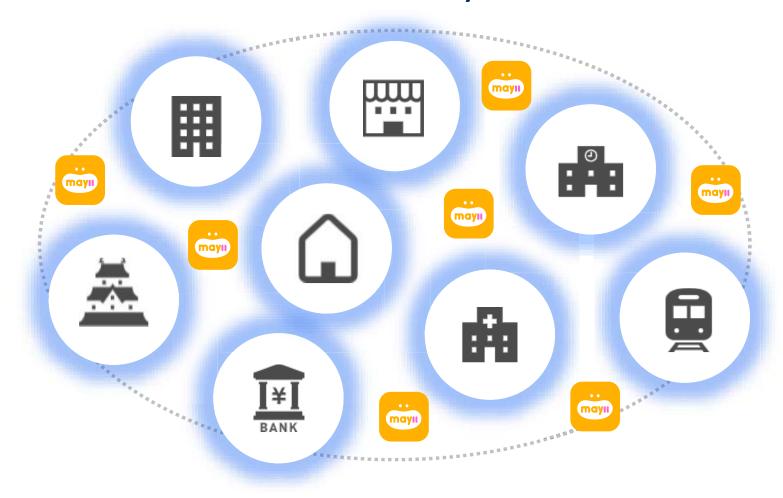
スマホがつなぐ、助けあいアプリ

ミッション機能で困りごとや手助けを学び 対面サポート機能で様々な人とふれあい 自らの行動をポイントやキャラクターの成長で 実感する個人が社会に参画しやすくなるアプリ



™□YII アプリを利用した地域コミュニティのつながりの再生

企業や行政はDXをはじめとする取組で自らの周辺領域を利便性の高いサービスで拡充するが 生活の隅々までをカバーすることは難しい。その"スキマ"を「May iiアプリ」を介して人びと同士を繋いで埋める。



mayIIアプリに関する提案の反省と課題

[反省点]

提案内容が実現した際の具体的なイメージまでを 提示できなかった

[課題]

社会自体にも受け容れられる下地的なものが不足しているのではないか

親切や対話はなぜすすみにくいのか

親切さや対話以前の問題として、他者との接点や会話の機会、会話する場自体が不足しているのではないか。

● 『聞く技術、聞いてもらう技術』によると (東畑開人著)

「対話は大事」というコンセンサスはあるものの実態として対話はうまくいっていない。「聞く」が不全の時代には"聞く技術"と"聞いてもらう技術"が必要。

●『会話の科学』によると (ニック・エンフィールド著)

会話が成立するためには文法以外にも暗黙のルールがあり、会話する者同士の間には非常に高度な協力関係が潜んでいる。

"聞く技術"、"聞いてもらう技術"は会話によって養われることを考えると、会話のきっかけをつくることで、会話を通じての協力的な関係性が育まれ、社会基盤となる下地も整うのではないか。

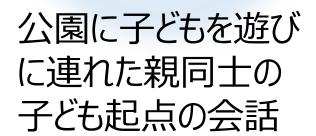
会話のきっかけとなるものはさまざま

公園にて…

散歩の途中で…

花壇にて…







犬の散歩中の飼い主 同士のペットが起点の 会話



自宅や共同花壇で育てる花々など植物起点の会話

会話のきっかけとして私が推進したいもの



「風の歌を聴け」 (講談社文庫) 村上春樹著

本が起点となる会話の場を増やしたい

スープストックトーキョーの理念



(最終閲覧日:2023年9月15日) https://www.soup-stock-tokyo.co.jp/project/

本を起点とした会話の場



その実現のためのネットワーク型共同書店

私の夢アイデア

ネットワーク型の共同書店とは

本をめぐる生態系

大手中小書店チェーン

- ・丸善、ジュンク堂書店
- •紀伊国屋書店
- ·TSUTAYA、蔦屋書店 etc

1999年時点で約22,000店あった 書店は現在約8,000店と半分以下へ

独立系書店

- ·本屋B&B
- ・ブックスキューブリック etc

オンライン書店

- Amazon
- ・ 楽天ブックス
- ・hontネットストア etc

ネットワーク型共同書店はシェア型書店の派生型

図書館

- •国立図書館
- ·公共図書館
- ·大学、学校図書館 etc

シェア型書店

- PASSAGE
- ・ブックマンション etc

古書店

・ブックオフ etc

シェア型書店とは



PASSAGE by ALL REVIEWS (東京都千代田区神田神保町)

PASSAGE by ALL REVIEWS 「世界一の本の街 神保町で共同書店はじめました」 (最終閲覧日: 2023年4月5日) https://passage.allreviews.jp

シェア型(共同)書店

一般的な書店では、出版社が取次に本を卸し、そこから書店へ配本される委託販売の流通形式を取るのに対して、本棚を小さく区分けし、棚主に貸し出すテナント型のビジネススタイルを取る書店。

左の写真は仏文学者の鹿島茂氏が開設した日本でもっとも成功しているシェア型書店「PASSAGE by ALL REVIEWS」。棚主は2023年5月末時点で362人。

共同書店の課題(あくまで個人的意見)

・収益基盤の脆弱性

書棚の本のメンテナンス

・書店の集客力

ネットワーク型共同書店の構成モジュール

個人棚主用 一人一棚本棚



*画像はイメージです



参考:本棚サンプル

モジュール化した個人オーナ用の本棚 とその仕様に合わせた本棚格納用の フレームラックとの組み合わせによる構成



* 画像はイメージです

本棚格納用フレームラック



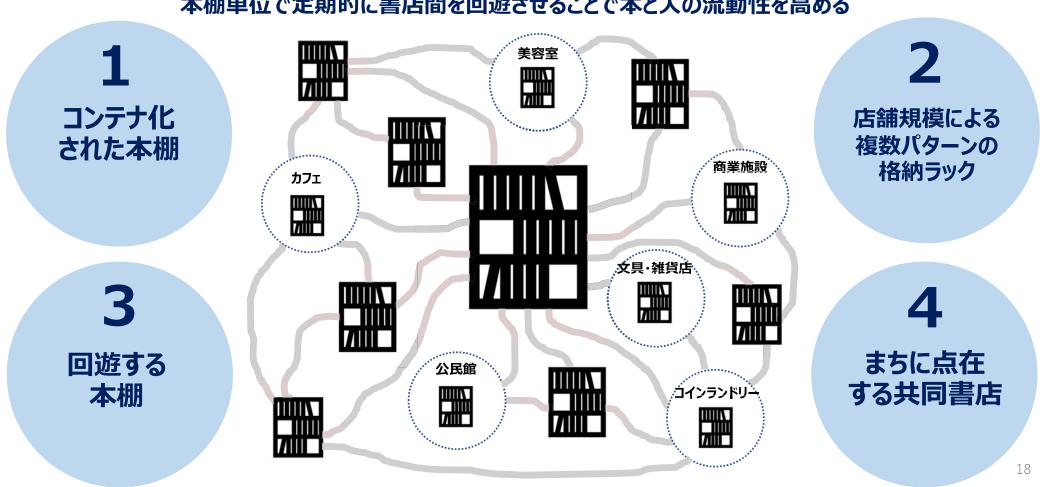
*画像はイメージです



参考:本棚+フレームラック模型

ネットワーク型共同書店の4つの特徴

ハブとなる共同書店とサテライト型の副業書店のネットワーク 本棚単位で定期的に書店間を回遊させることで本と人の流動性を高める



ネットワーク型共同書店のビジネスモデルキャンバス

パートナー

- ·個人本棚主
- ・本棚リース先
- ·本棚物流会社

主要活動

- ・ハブとなる共同書店 の運営
- ・サテライト書店の運営支援
- ・個人本棚主の募集、運営 支援
- ・本棚回遊ルート計画、物流
- ・本棚管理システム運用

リソース

- ・RFIDタグ管理システム
- ・クラウド環境

価値提案

本と人びとの流動性を 高めて、まち全体での知と コミュニケーションを活性化 する

顧客との関係

- ・共同書店が地域のコミュニ ティの場として機能する
- ・個人本棚主との棚貸し 月額契約
- ・中核共同書店~サテライト 型書店各店間の相互送客

顧客セグメント

- ・本屋を手軽にはじめてみたい人
- ・本を通じてのつながりを広げ たい人
- ・本棚を置くことで自店の特徴 をうちだしたいオーナー

チャネル

- ・中核共同書店のリアル 来客者
- ・サテライト型書店のリアル 来客者
- ·SNS

コスト構造

- ·共同書店費用
- ・個人向本棚、格納用フレームラック費用
- ·書店間本棚物流費用
- ・デジタル関連開発・機器費用

収益の流れ ※金額検討中

- ・本棚主からの入会金、月額利用料(入会金: 0,000円、月額: 0,000円円想定)
- ·書籍販売手数料(販売価格の00%想定)
- ・サテライト型書店への本棚月額リース料(月額:0,000円想定)
- *上記の収益以外に、書店スペースを利用したカフェ等飲食事業、イベントスペース事業なども想定

UTの小さな夏祭り"URBANG TABLE 夏マルシェ"での実験





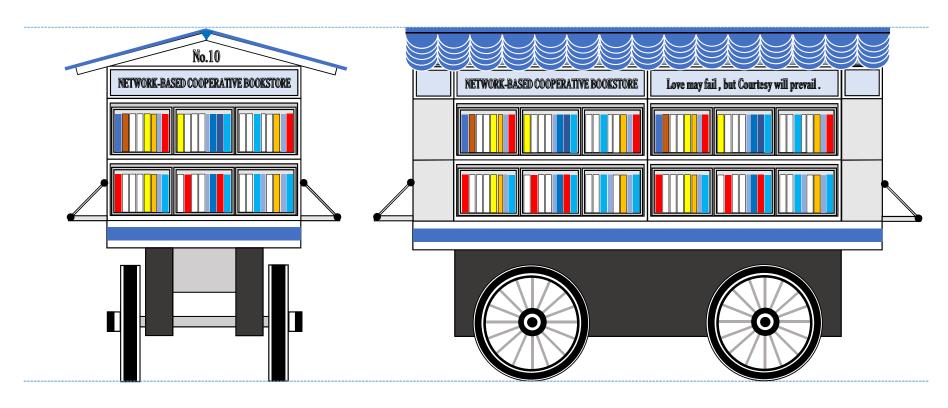


8/18(金)・19(土) 10:00-19:00

- ・立ち寄りいただいた方 約18名
- ·販売冊数 8冊
- ·販売金額 3,500円

妄想 1. コンテナ化された本棚をマウントできる屋台書店構想

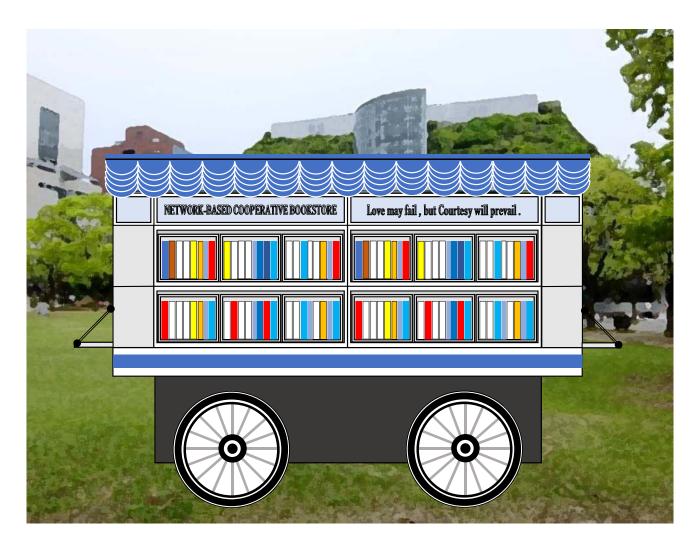
〈屋台書店イメージ〉



妄想 2. 屋台書店の観光資源化、福岡版ブキニストへ



パリセーヌ川沿いのブキニスト 17世紀にはじまる露店古本屋 1991年、世界遺産に登録



私の夢アイデア

本を介したウェルビーイングなまちづくり

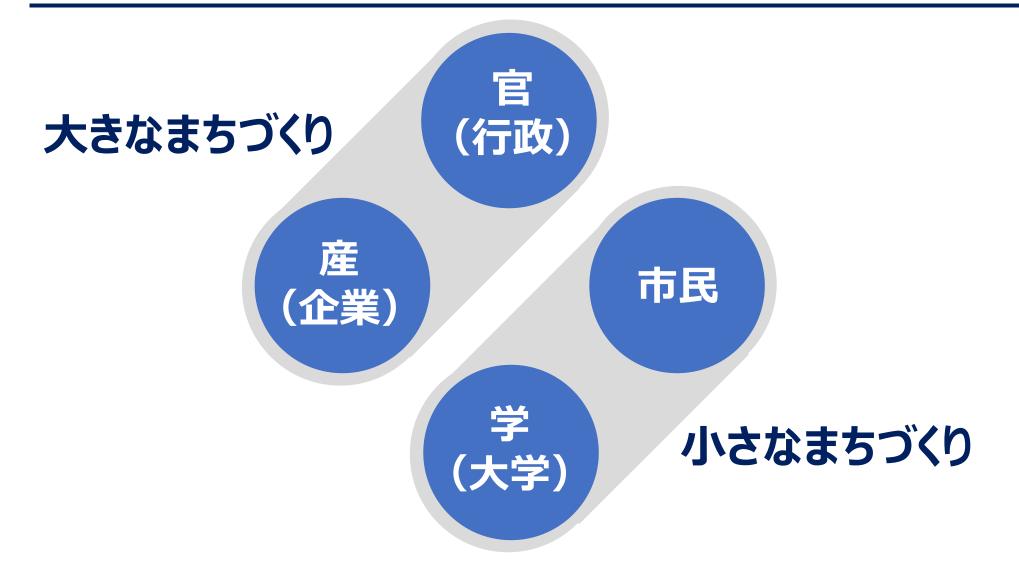
「みんなでつくる福岡市の将来計画プロジェクト」ワークショップに参加して



(最終閲覧日:2023年9月21日) https://city-fukuoka-syouraikeikaku-project-2023.jp



大きなまちづくり~小さなまちづくり



大きなまちづくり~小さなまちづくりの特徴

大きなまちづくり

- •大規模
- •戦略的
- ·長期的
- ・大きな予算



小さなまちづくり

- ·小規模
- ·戦術的
- •短期的
- ・小さな予算

大きなまちづくり~小さなまちづくりがもたらすもの

大きなまちづくり

- •大規模
- •戦略的
- ·長期的
- ・大きな予算



- •生產性
- ·効率性
- マスな豊かさ
- •利便性

(行政)

学 (大学) ・能動性や主体性

・ウェルビーイング

・パーソナルな豊かさ

・楽しさ

市民



小さなまちづくり

- ・小規模
- ·戦術的
- •短期的
- ・小さな予算

福岡市がさらに突き抜けたまちとなるために

(企業)

大きなまちづくり

- •大規模
- •戦略的
- ·長期的
- ・大きな予算



- ・生産性
- •効率性
- マスな豊かさ
- ·利便性



市民

学 (大学)

- ・能動性や主体性
- ・ウェルビーイング
- ・パーソナルな豊かさ
- ・楽しさ



小さなまちづくり

- •小規模
- •戦術的
- •短期的
- ・小さな予算

大きなまちづくり~小さなまちづくりの重ね合わせ

大きなまちづくり

- •生產性
- ·効率性
- マスな豊かさ
- •利便性

アジアのリーダー 都市としての 持続的成長 官 (行政)

産 (企業)

> 学 (大学)

小さなまちづくり

- ・能動性や主体性
- ・ウェルビーイング
- ・パーソナルな豊かさ
- ・楽しさ

市民



わたしたちの 〈活躍の機会〉 〈自分の役割〉 〈自分の居場所〉

"UT 夏マルシェ"に参加して発見、体験できたこと





マルシェに参加された方々の"自分が好きなこと、得意なこと、 興味があること"に取り組む姿を見て、また私自身も以前からやりたかった本屋を出店してみて、能動的に活動することがいかに人をいきいきとさせるのかを実感できた。

ネットワーク型共同書店で実現したいこと

小さなまちづくり



会話量を





自分がやりたいことの実現 =自分自身の幸福 社会にとって良いことの実現 = 社会にとっての幸福



ウェルビーイング

